

# 國際法外交雜誌

第110卷 第1号

2011年5月

## 論 説

- 「保護・尊重・救済フレームワーク」に関する一考察  
——企業の自発性の尊重か、法的その他の規制の強化か——  
麗澤大学教授 梅田 徹 1
- 国連平和維持軍請求委員会の史的考察  
——その創成期における実践を手掛かりとして——  
筑波大学准教授 吉田 脩 30
- 国際仲裁と国家法秩序の関係  
神戸大学教授 中野 俊一郎 53
- 「国家建設」モデルの再考序論  
——ソマリア沖海賊問題と「ソマリア国家」の事例から——  
神戸学院大学准教授 杉木 明子 76
- ## 紹 介
- 申 恵 著「人権条約の現代的展開」  
宇都宮大学教授 今井 直 101
- 村瀬信也 編「国連安保理の機能変化」  
専修大学教授 森川 幸一 106
- 田村精一 著「国際私法及び親族法」  
関西学院大学教授 岡野 祐子 111
- 松浦博司 著「国連安全保障理事会」  
敬愛大学教授 庄司 真理子 116
- 大竹弘二 著「正戦と内戦  
カール・シュミットの国際秩序思想」  
関西大学法学部准教授 西 平等 121

# 國際法外交雜誌

第110卷第2号

2011年8月

## 論 説

國際法上の海賊 (Piracy *Jure Gentium*)

— 國連海洋法条約における  
海賊行為概念の妥当性と限界 —

法政大学教授 森 田 章 夫 1

宇宙の探査・利用をめぐる「国家責任」の課題

— コスモス 2251 とイリジウム 33 の  
衝突事故を題材として —

慶應義塾大学教授 青 木 節 子 25

域外行為に対する刑事管轄権行使の國際法上の位置づけ

— 重大な人権侵害に関する分野の  
普遍管轄権行使を中心に —

岡山大学准教授 竹 内 真 理 50

## 資 料

國際法協会アジア太平洋地域会議報告

78

## 紹 介

大沼保昭先生記念論文集

『國際法学の地平——歴史、理論、実証』

立命館大学教授 薬 師 寺 公 夫 80

村瀬信也 = 鶴岡公二 編『変革期の國際法委員会——山田中正大使傘寿記念』

東京大学教授 岩 沢 雄 司 88

栗林忠男・杉原高嶺 編『日本における海洋法の主要課題』

コペンハーゲン大学准教授 田 中 嘉 文 94

須網隆夫・道垣内正人 編『國際ビジネスと法』 同志社大学教授 高 杉 直 101

Teruo Komori & Karel Wellens (eds.), *Public Interest Rules of International Law: Towards Effective Implementation*

神戸大学准教授 林 美 香 106

Yoshifumi Tanaka, *A Dual Approach to Ocean Governance: The Cases of Zonal and Integrated Management in International Law of the Sea*

中部大学准教授 加々美 康 彦 112

Hitomi Takemura, *International Human Rights to Conscientious Objection to Military Service and Individual Duties to Disobey Manifestly Illegal Orders*

防衛大学校准教授 佐 藤 宏 美 118

## 主要文献目録

國際法 西村智朗・湯山智之 122

國際私法 黄 軻 霆・村上 愛 162

國際政治・外交史 齋藤嘉臣・三牧聖子 177

## 会 報

國際法学会2011年度(第114年次)春季大会 200

# 國際法外交雜誌

第110卷 第3号

2011年11月

## 論 説

化学兵器の使用禁止に関する規範の位相

——国際刑事裁判所 (ICC) 規程の  
改正を契機として——

奇山学院大学准教授 阿 部 達 也 1

### 特集「北極をめぐる法と政治——その現代的課題——」

北極における領有・境界問題の展開

——陸地と大陸棚を中心に——

福岡女子大学准教授 深 町 朋 子 27

北極における国際政治

——グローバル・ガバナンス、下位地域協力、  
国家間政治の交差の中で——

津田塾大学教授 大 島 美 穂 49

## 研究ノート

北極をめぐる現代的問題の状況

外務省国際法局海洋室長 加 藤 喜 久 子 71

## 資 料

解説・日本の国際法判例 (6)

「日本の国際法判例」研究会 (第2期) 95

国際関係法教育検討委員会 (第2期) 報告書

140

## 紹 介

森 大輔 著『ゲーム理論で読み解く国際法：

国際慣習法の機能』

上智大学名誉教授 廣 瀬 和 子 145

松井芳郎 著『国際環境法の基本原則』

上智大学教授 磯 崎 博 司 151

阿部浩己 著『国際法の暴力を超えて』

大阪市立大学副学長 桐 山 孝 信 157

佐藤宏美 著『違法な命令の実行と国際刑事責任』

金沢大学教授 稲 角 光 恵 162

Hiroko Yamane, *Interpreting TRIPS: Globalisation of Intellectual*

*Property Rights and Access to Medicines*

東京大学教授 中 川 淳 司 167

松岡 博 著『アメリカ国際私法の基礎理論』

学習院大学教授 神 前 禎 172

伊藤信哉 著『近代日本の外交論壇と外交史学

——戦前期の『外交時報』と外交史教育』

東京大学教授 酒 井 哲 哉 177

## 会 報

国際法学会2011年度 (第114年次) 秋季大会

182

報告公募試行のお知らせ

200

主要文献目録について

201

第44回安達峰一郎記念賞

201

# 國際法外交雜誌

第110卷第4号

2012年3月

## 論 説

- Transitional Justice and the Norms of International Law  
Professor, Middlesex University, London William SCHABAS 1
- Transitional Justice, Peacebuilding, and International Law:  
What Role is Played by the UN in Post-conflict Peacebuilding?  
Professor, Hitotsubashi University Tetsuo SATO 26

## 資 料

- 判例研究・國際司法裁判所  
ジェノサイド条約適用事件(クロアチア対セルビア)  
(先決的抗弁判決・2008年11月18日) 國際司法裁判所判例研究会 59
- 国連國際法委員会第63会期の審議概要 國際法委員会研究会 79

## 紹 介

- 坂元茂樹 編『藤田久一先生古稀記念 國際立法の最前線』  
南山大学教授 岡 田 泉 152
- 阿部達也 著『大量破壊兵器と國際法 国家と國際監視機関の  
協働を通じた現代的國際法実現プロセス』 法政大学教授 森 田 章 夫 157
- Erik Koppe, *The Use of Nuclear Weapons and  
the Protection of the Environment during  
International Armed Conflict* 海洋政策研究財団研究員 佐々木 浩子 164
- 河野俊行 編『知的財産権と涉外民事訴訟』 立命館大学教授 樋 爪 誠 170
- 山本 健 著『同盟外交の力学 ヨーロッパ・デタントの  
國際政治史 1968-1973』 立命館大学教授 宮 脇 昇 175
- 鈴木一人 著『宇宙開発と國際政治』 宇宙航空研究開発機構主任 栗 山 育 子 181
- 総 目 次 186